

《令和 8 年度公募中研究助成一覧》			2026年7月29日現在		
No.	公募名／助成団体	公募元リンク	対象分野・テーマ等	掲載日	申請期限
R8-24	令和9年度(第49回)研究助成／公益財団法人日本板硝子材料工学助成会	http://www.nsg-zaidan.or.jp/documents/r9essential.html	【助成対象】 主として、無機の固體材料並びに関連材料の科学と技術の研究 例えば、ガラス・セラミックス等のバルク・薄膜あるいはナノレベルのハイブリッド構造で、フォトニクス、エレクトロニクス、医用、環境、省エネルギー、各種構造材等に用いる材料（複合材料を含む）に関する基礎研究および応用研究（注：純粋な金属は含まない）	2026年7月29日	2026年11月18日
R8-23	2026年度学術研究助成／公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	https://www.iijima-kinenzaidan.or.jp/academic/	【助成対象部門】 米麦その他の主要食糧等を原料とする食品に係る食品科学等の研究領域（以下、具体的な研究分野） 1．生産・製造 2．加工、保蔵 3．安全性、衛生管理 4．成分分析 5．栄養・生理機能 6．味覚・嗅覚・嗜好性 7．物性 8．調理、食生活・食文化 9．食品科学に関わる学際的研究など	2026年7月28日	2026年10月7日
R8-22	2027年度ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成／公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団	https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/bfjyosei/bfjyosei_top2.html	【助成対象部門】 (a) 重点テーマ部門 交通バリアフリーに関わる重点テーマに基づいた調査研究や技術の研究開発とし、以下のいずれかに該当する研究内容 ＜重点テーマ＞ ・サイン：公共交通機関のターミナル（鉄道、空港等）内及び、他モードと乗り継ぎを含めた面的な広がりをもった案内サインのあり方 ・情報：移動円滑化に関する事前情報提供の拡充、WEB 及びアプリのアクセシビリティのあり方、異常時における様々な情報提供のあり方 ・接遇：他社乗り継ぎ等を含めた接遇介助のあり方 ・モビリティと交通：交通空白地の高齢者・障害者等のモビリティ戦略 (b) アーリーキャリア部門 (c) 活動部門	2026年7月22日	2026年11月30日
R8-21	第22回児童教育実践についての研究助成／公益財団法人博報堂教育財団	https://www.hakuhodofoundation.or.jp/subsidy/	【助成対象研究】 ●「ことばの力」を育む研究 ・国語・日本語教育の諸分野における研究 ・あらゆる学びの場におけることばの教育に関する研究 ●児童教育実践の質を向上させる研究 ・多様な場における教育実践の質を向上させる研究 ※対象は小・中学生 ただし、児童教育への反映が明確な場合に限り、幼児教育、高校生に関する研究も可とする	2026年7月7日	2026年10月13日

《令和 8 年度公募中研究助成一覧》			2026年7月29日現在		
No.	公募名／助成団体	公募元リンク	対象分野・テーマ等	掲載日	申請期限
R8-20	第38回名古屋大学出版会学術図書刊行助成／一般財団法人名古屋大学出版会	https://www.unp.or.jp/unp_kankoujosei38	【助成対象】 中部11県（愛知県、岐阜県、三重県、滋賀県、静岡県、長野県、福井県、石川県、富山県、新潟県、山梨県）の大学に在職するかそれに準ずる研究者の優れた学術的研究成果で、日本語による個人著作（3人までの共同著作を含む）	2026年7月7日	2026年10月30日
R8-19	第42回若手研究者のための健康科学研究助成／公益財団法人明治安田厚生事業団	https://www.my-zaidan.or.jp/josei/about/	【公募テーマ】 a：指定課題：健康増進のための実装研究 ※エビデンスに基づく健康増進策を社会に普及・定着させる方法の開発とその評価を行う「社会実装型」の研究 b：一般課題：健康増進に寄与する学術研究 ※研究者1人につき、aかbのいずれか1件のみ応募可	2026年7月7日	2026年10月1日
R8-18	令和8年度研究助成／公益財団法人上廣倫理財団	https://www.rinri.or.jp/research/post-16667/	【助成対象研究】 ①人間の「生命」や「生き方」、社会における「共生」に関する哲学、倫理学、教育学、心理学等、人文社会科学分野からの研究 ②現代の倫理的課題に関する実態研究及び調査 ③学校における倫理教育・道徳教育に関する研究	2026年7月7日	2026年9月19日
R8-17	2027年度助成プログラム募集／公益財団法人鹿島学術振興財団	https://www.kajima-f.or.jp/grant-projects/research-grant/	< 一般研究助成・国際共同研究助成 > 【助成対象研究分野】 ①都市・居住環境の向上 ②国土・資源の有効利用 ③防災・危機管理の推進 ④文化・自然環境の保全 ※①～④に関連する社会システム、情報技術等先端技術に関するものを含む < 特定テーマ研究助成 > 【2026年度特定テーマ】 ①地域の持続的経営に資する研究 ②カーボンニュートラルな社会の早期実現に資する研究 ③レジリエントな社会や都市の形成に資する研究 ④インクルーシブな町づくりに関する研究 ⑤人口減少・少子高齢化に伴う建設業の問題解決のための研究 ⑥AI・データ駆動・ロボティクスによる建築・建設・不動産システムの変革に関する研究	2026年6月30日	2026年10月15日

《令和 8 年度公募中研究助成一覧》			2026年7月29日現在		
No.	公募名／助成団体	公募元リンク	対象分野・テーマ等	掲載日	申請期限
R8-16	2026年度助成金応募のご案内／公益財団法人科学技術融合振興財団	https://www.fost.or.jp/guidelines.html	【助成事業対象】 ●研究課題A シミュレーション＆ゲーミングに関する調査研究 ●研究課題B ①情報技術、ネットワーク技術を応用したシミュレーション＆ゲーミングによる学習用ソフトウェアの試作（学習用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓発活動） ②社会に役立つシリアスゲームの調査研究 ③エンタテインメントゲームに関する調査研究 【研究課題分野】 ①情報科学 ②社会 ③医学・福祉 ④教育 ⑤生物 ⑥物理 ⑦環境 ⑧図形・デザイン ⑨経営・経済 ⑩土木建築 ⑪化学 ⑫数学 ⑬エンタテインメントゲーム ⑭その他 a.心理学 b.コミュニケーション c.防災 d.物語研究 e.スポーツ f.出版企画	2026年6月30日	2026年10月15日
R8-15	2026年度食の文化研究助成事業／公益財団法人味の素食の文化センター	https://www.syokubunka.or.jp/research/#application	【助成対象分野】 ①食の文化に関わる研究 人文・社会科学の研究に限らず、自然科学分野で食の文化に関する研究も含む（但し、食品や医薬品などの開発を目的とするものは除く） ②特に、食の文化に関する認識や研究活動に新たな広がりや深みをもたらすことが期待される研究を優先的に対象とする	2026年6月17日	2026年8月31日
R8-14	2026年度第42回一般研究奨励助成／公益財団法人総合健康推進財団	https://soukensui.jp/pages/58/	【助成対象】 1. 栄養と健康 2. 老化と健康 3. 保健対策と健康 4. 衣食住と健康 5. 代替医療と健康 6. 生活環境と健康 7. 福祉と健康 8. 産業と健康 9. こどもと健康 但し、原則として ①疾病の診断治療に直接関与する研究 ②検査手法やその機器の開発 ③バイオ細胞による研究 ④動物のみを用いた研究 は助成の対象から除外する	2026年6月16日	2026年9月30日

《令和 8 年度公募中研究助成一覧》				2026年7月29日現在	
No.	公募名／助成団体	公募元リンク	対象分野・テーマ等	掲載日	申請期限
R8-13	第49回（2027年）公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集／公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団	https://www.descente.co.jp/ishimoto/	【応募資格】 ①体育学、健康科学、人間工学、被服科学、運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術、およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学、およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ ②高校生から幼児までの教育機関に奉職しており、①に前述した分野で研究または調査活動を積極的に行っている個人またはグループ この場合、運動生理学的研究でなくとも、あくまで教育現場に於ける身近なテーマで、すぐにも役立つ研究テーマを求めている 但し、研究報告等に不慣れな人は、報告書作成に習熟した人を共同研究者に加えて申請のこと ①②とも eAPRIN などの研究倫理教育を修了していることを必須とする	2026年6月16日	2026年8月2日
R8-12	2026年度助成金応募／公益財団法人マリア財団	https://maria-zaidan.org/news/jyosei_2026.html	【助成対象】 (1) 幼児・児童教育等に関する研究・実践を行っている個人・団体 (2) 原則として日本国内で研究・実践を行っている者 (3) 過去にこの助成を受けていない者 申請者は、政府・民間の機関、団体または個人のいかんを問わないものとする ただし、同一の研究について他の財団の助成金等を受けていないことを原則とする	2026年6月5日	2026年11月30日
R8-11	2026年度学術研究助成事業／公益財団法人全国銀行学術研究振興財団	https://www.zenginzaidan.jp/youkou_u.html	【助成対象】 経済・金融およびこれらに関する法制に係る研究 具体的には、経済分野では、経済理論、経済統計学、経済政策、経済史、財政学、金融論およびこれらに準ずるもの 法律分野では、民法、商法、経済法、その他の金融・経済に関する法律 上記対象分野の隣接領域、関連領域等も対象とする	2026年6月2日	2026年8月31日
R8-10	令和8年度第37回人工知能研究助成／公益財団法人中部科学技術センター	https://www.cstc.or.jp/business/ai_research.php	【助成対象】 人工知能及び関連技術分野（人工知能を活用した情報処理技術、情報通信技術等）の高度化に関する独創的な研究及び開発であって、次の各号に掲げるもの ①産業発展・環境保全における技術高度化並びに生産性向上のための人工知能及びその利用技術に関する研究 ②医療・介護・教育・経済・法律等の知的支援に関する研究 ③画像・音声理解、ヒューマンインターフェイス、エンターテインメント、感性情報処理の高度化に関する研究 ④ロボットの感覚・運動・思考・知能・感情・インタラクション等に関する研究 ⑤インターネット・IoT・モバイルシステムの知的で安全な利用方法に関する研究 ⑥その他、人工知能の基礎及びその利用技術等に関する研究	2026年5月20日	2026年9月30日